

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	夢んぼ 保育所等訪問支援		
○保護者評価実施期間	8年 6月 4日 ～ 8年 6月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	年 月 日 ～ 年 月 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	8年 7月 13日 ～ 8年 7月 17日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3	(回答数) 3

○ 分析結果

	事業所の強み（※）と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先や学校とコミュニケーションをしっかりと、支援の統一をすることができます。	訪問した際には、先生方との情報共有をしっかりと行います。具体的には（訪問門時の様子）（最近の様子の聞き取り）（困りごとの聞き取り）（それに対するアドバイス）（今後取り組んでいくこと）を主として聞き取りや共有をしています。訪問先の状況によっては難しい場合もあるため、担当者会議等で共有をしています。	継続して先生方とコミュニケーションを図り、園が学校での集団生活を円滑に送れるように、困りごとの聞き取りや、支援方法について一緒に考えていきます。状況によって聞き取りが難しいこともあるため、内容によっては電話等でも取り組んでいます。
2	園や学校での役割、夢んぼでの療育の役割分担をしっかりと行い、取り組めています。	園や学校での様子を把握するだけでなく、夢んぼでの療育の内容を伝えたり、必要に応じて療育現場の見学を促したりとお互いの役割や目指すものなどを話し合っています。	継続してお互いの役割などを整理しながら、対象児の健やかな成長を促していきます。

	事業所の弱み（※）と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	月に1回～2回の訪問になっているので、情報共有にタイムラグが出てしまうことがあります。	訪問時に直接先生と情報共有をしているが、情報量が多くなっているため、すぐに対応するべき内容の優先順位が上手くできなかったり、口頭のみでの伝え方になっている。	必要な情報は訪問時だけでなく、お電話でお伝えするなどいろいろな手段での情報共有に取り組んでいます。